

第3回夏のオンライン高校生文学模擬裁判交流大会 実施要項

オンライン高校生文学模擬裁判交流大会実行委員会

主催：龍谷大学札幌研究室・オンライン高校生文学模擬裁判交流大会実行委員会

後援：龍谷大学犯罪学研究センター、一般社団法人刑事司法未来、京都教育大学附属高等学校模擬裁判同窓会、
龍谷大学矯正・保護総合センター、龍谷大学法情報研究会

1 本大会のねらい

- ①模擬裁判に取り組む高校生の交流を図る。
- ②人間や社会への眼差しを深める文学（「国語的」）模擬裁判を味わう機会を提供する。

2 日時場所

8月11日(金祝)

法廷：札幌研究室および各自宅、学校（ZOOM）

3 出場校（6校程度を予定）

4 競技方法

参加校は予め配布される文学教材シナリオ（後日発表）や関連資料をもとに、参加校が検察側・弁護側どちらかの立場に立って立証・弁護活動を行う。シナリオ創造型の模擬裁判である。

参加校は決められた時間に従い、立証・弁護活動を行い、審査員がそれらの内容を評価して、その総合点で勝敗を決める（検察側、弁護側どちらになるか、あるいは競技方法の詳細については締め切り後に連絡する）。得点の高い順から優勝校・準優勝校を決める。

5 採点基準

読解力、人間や社会への洞察力、論理性、表現力等の視点から採点する。

6 各チーム人員

1試合に必要な生徒数は、検察側・弁護側いずれの立場でも最低3名とする（証人役、被告人役は生徒が行う。検察官役、弁護人役の生徒は証人役あるいは被告人役を兼ねることはできない）。

7 費用

参加費は無料。

8 準備活動について

参加校確定後、教材及び具体的なルールや実施方法を配信し、争点についての立証・弁護方針を定め、証人尋問・被告人質問の準備をする。模擬裁判初心者でも、模擬裁判を行うにあたり必要事項を学ぶ機会を設ける。7月中旬より大会前まで週末を中心に授業をZOOMで3回程度配信する。できる限り参加することを求めるが強制はしない。参加できなかった高校には録画動画を送付するなど補填できるようにする。また初めて模擬裁

判に参加するにあたって準備するためのサポート体制（諸国漫遊制度：オンラインでその学校の都合に合わせて指導に赴く仕組み）を敷く。

参加校は8月6日（日）までに出場選手名（チームメンバー名）を主催者（委員会メール：後日説明）まで連絡する。

9 大会までの流れ

申し込み受理後、7月中旬をめどに教材を配信し、3回程度の事前講義を行う。その後大会当日まで「諸国漫遊」を実施。

10 参加条件

次の条件を満たすこと。

- (1) 学校長の許可を得ること。
- (2) 趣旨に賛同できること。
- (3) ZOOMを利用できる環境を準備できること。
- (4) 保護者の同意を得ていること。

11 当日のスケジュール予定

9時 ZOOM入室可能

9時15分 諸注意

9時30分～11時30分 第1試合 (検察) VS (弁護)

(休憩45分)

12時15分～14時15分 第2試合 (検察) VS (弁護)

(休憩25分)

14時40分～16時40分 第3試合 (検察) VS (弁護)

17時頃 講評、成績発表、表彰式

17時半 終了、振り返り交流

※試合状況や参加校数により、時間変更の可能性あり。

12 その他

免責事項について、準備授業や当日の試合のレコーディングを行うが、そのレコーディングの使用については研究および教育活動以外には使用しない（肖像権について差支えある場合は事前に連絡のこと。可能な限りの対応を考える）。教員に引率の義務は発生しない。

13 申し込み締め切り 7月上旬まで（6校になった時点で募集締め切り）

14 問い合わせ・申し込み先

〒600 - 8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 - 1

>>>> 龍谷大学大宮キャンパス西翼 129 号室

>>>> 札埜研究室 宛 TEL 075 - 343 - 3326 (研究室直通)

>>>> E-mail: fudafuda@let.ryukoku.ac.jp